

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

Schatzグループ3工場でVDA継続監査を実施

栃木、仙台、岩手の3工場にて、VDA継続監査を実施しました。

AdBlue®メーカーは、ドイツ自動車工業会(VDA)からAdBlue®の名称使用許可を得るため、定期的に監査を受けています。この監査は、AdBlue®を安心してお使いいただくための品質を、第三者の立場から確認する大切な機会です。

今回の監査では、日本国内のライセンサーの状況や、Schatzグループがどのような企業グループであるかについての確認に加え、現場の確認も行われました。グループとしての体制と、実際に製造を行う現場の両面から、製造元としての姿勢を見ていただきました。

監査を通じて、Schatzグループの体制や取り組みについて、ご理解をいただくことができました。さらに、今後の監査やメーカーとしてのあり方についても、継続的にご指導をいただける旨のお言葉をいただいています。

AdBlue®は、車両の排出ガス浄化を支える製品であり、品質の安定が何よりも求められます。外部の視点を取り入れながら、品質管理のあり方を見直していける関係ができたことは、お客様に安心してお使いいただける製品づくりにつながると考えています。

Schatzグループは今後も、グループ全体でいただいたご指導を生かしながら、品質管理体制の強化に努めてまいります。高品質なAdBlue®の安定供給を通じて、お客様の事業を支えてまいります。



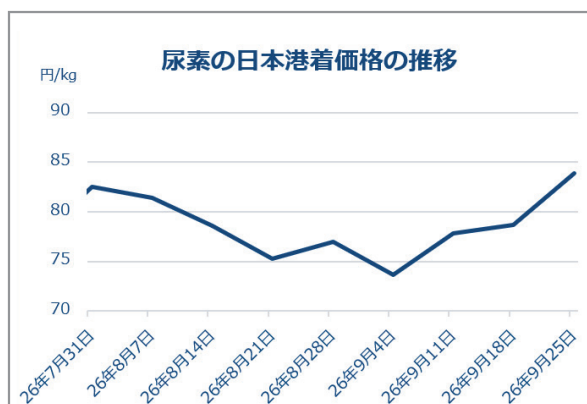
【尿素市況】9月輸入価格は反発、インドの購入が国際需給引き締め

リム情報開発の調べでは、日本着(CIF)の円建て輸入尿素価格は、9月25日時点でトンあたり83,900円程度と、8月28日時点と比べ6,900円程度反発した。インドの旺盛な買いが国際市場の売り物を吸収し需給を引き締めた。

中国当局が9月前半に150~200万トン規模の第3期輸出枠を国内メーカーなどに割り当てた。一方、インド国営IPLが9月23日に新たな買い付け入札を開示した。西海岸向け100万トン、東海岸向け70万トンが対象で、船積み期限は12月中旬ごろと長めに設定した。比較的割安なうちに中国積みカーゴをできる限り多く囲い込む狙いがあるようだ。

こうしたなか、中国では生産量、港湾在庫とも減少傾向となり、国際需給の引き締めにつながった。日本の主要輸入先であるベトナム積みの相場も上昇、日本向けの輸入価格に押し上げ圧力がかった。

(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)200%



富山県射水市で「Dr.Fleet実演会」を開催 — 22社にご来場いただきました

2026年10月6日(火)、富山県射水市の高岡地区陸運事業協同組合様にて、「Dr.Fleet実演会 in 富山」を開催しました。運送会社を中心に22社の皆様にご参加いただき、会場は多くの来場者で賑わいました。

Dr.Fleetは、エンジン内部を洗浄し、DPFの詰まりを防ぐサービスです。トラックのマフラー・DPF周りのトラブルや、エンジン性能の維持といった課題に向けて、新しくご提供を始めました。

実演会では、実車を用いて施工を行い、次の3つの数値を施工前後で比較しながら、サービスの仕組みと特徴を直接ごいただきました。

燃料噴射量：1回の噴射で使う燃料の量です。適正な状態ほど無駄の少ない燃焼につながります。

インジェクター補正量：噴射のズレをエンジンが自動で補った量です。汚れが減ると、この補正が小さくなります。

DPF差圧：DPF内部の詰まり具合を見る指標です。燃焼状態が整うと、スス(DPFにたまる黒い汚れ)がたまりにくくなり、差圧の改善につながります。

日々の運行を支える車両のメンテナンスは、運送会社にとって重要な課題の一つです。多くの企業様にお集まりいただき、現場の関心の高さを改めて感じました。

Schatzは今後も、AdBlue®の安定供給に加え、Dr.Fleetを通じて、運送会社の皆様の車両整備・メンテナンスのお悩みに向き合い、安心・安全な運行をサポートしてまいります。

